上智大学イベロアメリカ研究所オンラインワークショップ

チリ

抵抗、再生、保護：マプチェ族とラパヌイ族の教育と文化

Zoom

マプチェおよびラパヌイ（イースター島）の活動家や教育者から、チリにおける先住民族の現状についてお話を伺います。特に、先住民族の女性たちの現実、健康、社会問題、歴史、文化、言語に焦点を当てます。講演のあとには、質疑応答の時間も予定しています。

コーディネーター：ニウタ・ジアス／イベロアメリカ研究所副所長、外国語学部教授
翻訳協力者： グスターボ・メイレレス ／外国語学部 助教

第1回：マプチェ族

ビオビオ地方におけるマプチェの女子大学生たち

SANDRA SALAMANCA RÍOS

チリ、ビオビオ大学社会福祉学部教員

マプチェの健康と幸せの理由：マプドゥングン（マプチェ語）

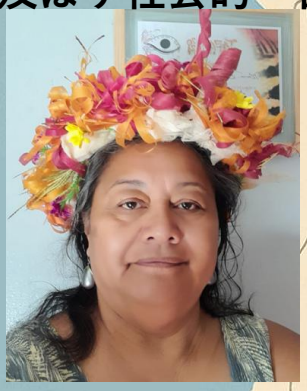
OLAYA BECERRA MILLAGUIR

チリ教育省のバイリンガル異文化教育プログラムにおけるマプチェの伝統的教育者

11月7日（金）19:30~21:00
（日本時間）

第2回：ラパヌイ族

ラパヌイの若者たちの生活に影響を及ぼす社会的・言語的課題



MARÍA EUGENIA TUKI PAKARATI

ラパヌイの伝統的教育者。ラパヌイ語アカデミーのディレクター。NGO Hōŋa ' a Re'o Rapa Nui の創設メンバー

ラパヌイ語の保存と復興

JACKELINE RAPU TUKI

教育者、ラパヌイ語教師。ラパヌイ語文化アカデミーおよび先住民教師協会会長

11月8日（土）9:00〜10:30
（日本時間）

イベントは Zoom ミーティング でスペイン語にて開催され、日本語に翻訳された資料が提供されます。
質疑応答の時間には、スペイン語と日本語の逐次通訳が行われます。

申込はこちらから↓

要事前申込：下記URLまたはQRコードからお申し込みください。（申込期限：11月 6 日23時00分）
お申込みいただいた方々には、アクセスに必要な情報を11月6日と7日の朝にお知らせいたします。

第1回(11/7)にお申込み済の方は同じアクセス情報で第2回(11/8)にも参加できます。

https://eipro.jp/sophia/events/view/IB20251107　問合せ：イベロアメリカ研究所: ✉ ibero@sophia.ac.jp

主催　上智大学イベロアメリカ研究所　https://dept.sophia.ac.jp/is/ibero/

Sophia Open Research Weeks 2025

11/5 wed - 11/24 mon